

事業優先順位	2 細事業: 認知症高齢者支援事業					整理番号	03		
目的	認知症になってもいつまでも河内長野市で暮らしていくことができるように、認知症の人や家族を支援するための仕組みを作る								
目標	認知症サポーター養成講座の開催、認知症コーディネーターの充実								
事業実施主体	直営	事業開始年度	平成19年度	根拠法令	介護保険法				
事業費・財源			平成24年度	比較			平成24年度	比較	
	事業費 (決算額) (千円)		756		コスト情報・従事職員数	総コスト (千円)		2,343	
	財源内訳	一般財源	288			内訳	事業費	756	
		国府支出金	468				人件費	1,587	
		地方債	0				公債費	0	
		その他特定財源	0				一人あたり (円)	21	
			0				世帯あたり (円)	50	
		0		参考		職員数 (人)	0.20		
	0			再任用職員数 (人)		0.00			
今後の方向性	認知症について広く市民に啓発し、認知症本人と家族をやさしく見守るまちづくりを進める。								
評価	妥当性	効率性	有効性	対象者	河内長野市民				
	A	A	B						

事業優先順位	3 細事業: 徘徊高齢者家族支援事業					整理番号	02		
目的	位置情報システムを利用して、徘徊高齢者を早期発見することで、事故を未然に防止し安全を確保するとともに、家族の負担を軽減する。								
目標	介護者家族への制度の周知と関連施策との連携を図る。								
事業実施主体	直営	事業開始年度	平成18年度	根拠法令	河内長野市徘徊高齢者家族支援サービス事業実施要綱				
事業費・財源			平成24年度	比較			平成24年度	比較	
	事業費 (決算額) (千円)		5		コスト情報・従事職員数	総コスト (千円)		402	
	財源内訳	一般財源	2			内訳	事業費	5	
		国府支出金	3				人件費	397	
		地方債	0				公債費	0	
		その他特定財源	0				一人あたり (円)	4	
			0				世帯あたり (円)	9	
		0		参考		職員数 (人)	0.05		
	0			再任用職員数 (人)		0.00			
今後の方向性	代替サービスの有無も含め、事業の有効性について検討していく。								
評価	妥当性	効率性	有効性	対象者	65歳以上で要介護認定を受けた徘徊のみられる認知症高齢者を介護する家族				
	B	A	B						

細事業：認知症高齢者支援事業

1. 認知症高齢者支援事業

認知症になってもいつまでも住み慣れた河内長野市で暮らしていくことができるように、認知症の人や家族を支援する仕組みづくりを進めた。

①認知症サポーター養成講座

認知症について正しく理解してもらい、認知症になっても安心して暮らし続けられるまちづくりを実現するため、認知症サポーター養成講座を23回開催し448人が参加した。また、子どものうちから認知症について理解してもらい、偏見をなくすことを目的に、小学校3年生～6年生を対象に認知症キッズサポーター養成講座を1回開催し、小学生31人が参加した。

※認知症サポーター

…国の認知症キャンペーンの一環で養成しており、認知症のことを正しく理解し、偏見をもたず、認知症の人や家族を温かく見守り支援する人。

オレンジリングは認知症サポーターのしるし



②認知症フォーラム

認知症について広く啓発することを目的に、平成25年3月3日「いつまでもこころ豊かにこのまちで」をテーマに認知症フォーラムを開催し、200人が参加した。

内容 ・講演会「認知症の人や家族を支えるまちづくり」

講師 (株)大起エンゼルヘルプクオリティマネージャー
和田 行男氏

・「河内長野市モックル介護予防体操」

指導 河内長野市総合スポーツ振興会

・寸劇「認知症のばあちゃん、家族やで、めっちゃ好きやで」

大阪介護支援専門員協会



細事業：徘徊高齢者家族支援事業

1. 徘徊高齢者家族支援サービス事業

徘徊のみられる認知症高齢者を介護する家族に位置探索システムを利用するサービスの加入料金負担を行った。

新規登録件数 1件 5,250円

(現利用者数 2名)